

2 ひとり親世帯になった時の親及び末子の年齢

(1) 親の年齢

母の平均年齢は 33.5 歳であり、年齢階級別で見ると「30～39歳」が最も多く、「20～29歳」がこれに次いでいる。

父の平均年齢は 38.3 歳であり、年齢階級別で見ると母子世帯と同様「30～39歳」が最も多いが、次に多い階級は「40～49歳」となっている。

表 2 - (1) - 1 母子世帯になった時の母の年齢階級別状況

	総 数	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	平均年齢
平成10年	(100.0)	(1.1)	(24.1)	(43.7)	(21.6)	(2.0)	(0.5)	34.7 歳
平成15年 千世帯 総 数	1,225.4 (100.0)	11.5 (0.9)	353.5 (28.8)	514.8 (42.0)	208.0 (17.0)	23.8 (1.9)	5.3 (0.4)	33.5 歳
死 別	147.2 (100.0)	- (-)	15.9 (10.8)	60.8 (41.3)	47.6 (32.3)	14.1 (9.6)	2.6 (1.8)	38.7 歳
生 別	1,076.4 (100.0)	11.5 (1.1)	337.6 (31.4)	454.0 (42.2)	160.4 (14.9)	9.7 (0.9)	2.6 (0.2)	32.7 歳

表 2 - (1) - 2 父子世帯になった時の父の年齢階級別状況

	総数	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	平均年齢
平成10年	(100.0)	(-)	(9.0)	(35.1)	(32.2)	(9.4)	(2.9)	40.2 歳
平成15年 千世帯 総 数	173.8 (100.0)	- (-)	28.7 (16.5)	63.0 (36.3)	47.8 (27.5)	19.1 (11.0)	1.9 (1.1)	38.3 歳

(2) 末子の年齢

末子の平均年齢をみると、母子世帯では 4.8 歳となっている。また生別世帯の平均は 4.4歳となっている。

一方、父子世帯の末子の平均年齢は 6.2 歳となっており、母子世帯と比べ 1.4歳高い。

表 2 - (2) - 1 母子世帯になった時の末子の年齢階級別状況

	総 数	0～2 歳	3～5 歳	6～8 歳	9～11歳	12～14歳	15～17歳	18・19歳	平均年齢
平成10年	(100.0)	(30.2)	(20.8)	(14.8)	(10.9)	(6.8)	(3.3)	(0.8)	5.4 歳
平成15年 千世帯 総 数	1,225.4 (100.0)	453.1 (37.0)	259.2 (21.2)	177.2 (14.5)	110.2 (9.0)	75.8 (6.2)	30.0 (2.4)	7.1 (0.6)	4.8 歳
死 別	147.2 (100.0)	38.8 (26.3)	23.8 (16.2)	19.4 (13.2)	27.3 (18.6)	15.0 (10.2)	13.2 (9.0)	6.2 (4.2)	7.3 歳
生 別	1,076.4 (100.0)	414.3 (38.5)	235.4 (21.9)	157.8 (14.7)	82.9 (7.7)	60.8 (5.7)	16.7 (1.6)	0.9 (0.1)	4.4 歳

表 2 - (2) - 2 父子世帯になった時の末子の年齢階級別状況

	総 数	0～2 歳	3～5 歳	6～8 歳	9～11歳	12～14歳	15～17歳	18・19歳	平均年齢
平成10年	(100.0)	(12.7)	(19.2)	(16.7)	(18.4)	(6.9)	(9.0)	(2.0)	7.8 歳
平成15年 千世帯 総 数	173.8 (100.0)	52.5 (30.2)	37.2 (21.4)	23.9 (13.7)	17.2 (9.9)	18.1 (10.4)	11.5 (6.6)	3.8 (2.2)	6.2 歳

